

# 「元気発進！子どもプラン」事業評価票（平成23年度実績評価）

事業名	思春期保健連絡会の設置							掲載ページ
								112
コスト	事業費	平成23年度執行額		平成24年度予算額		政策分野	子どもや若者の健やかな成長や自立を支える環境づくり	担当局
		786	千円	3,300	千円	施策名	青少年の健全育成	担当課
								子ども家庭局
								子育て支援課

【Plan】計画				【Do】実施		【Check】評価	
目的	何を(誰を)どのような状態にしたのか	思春期の心身の変化を正しく理解し、自分自身の心と体を大切にする健康教育を推進するため、医療・学校・地域・行政等の関係者による連絡会を開催し、現状の把握や課題の共有および連携強化を図るとともに、思春期保健の対策等について協議します。協議の結果等を踏まえ、思春期の健康教育を効果的に実施します。			活動実績	活動結果は下記のとおりです。	
活動計画	思春期の子どもとの課題を共有し、健康教育を推進するために、医療・保健・教育等の思春期保健関係者による連絡会を開催します。また、モデル教室を実施し、その結果を検証するとともに、平成22年度に作成した「健康指導イラスト教材集」の改訂を行います。						
活動指標	指標(数値化できない場合は、活動内容を文章で記載) (上段:指標名 下段:指標の考え方)		前年度実績	目標	実績(達成率)	【活動の状況】	
	連絡会の開催		6回	適切な開催	6回	大変順調	活動指標の実績を参考に、活動の状況をチェック
	思春期保健連絡会を開催し、関係者の連携を強化します。思春期保健の課題を共有し、効果的に健康教育を推進するのに重要なので指標にあげました。 (最終目標と最終年度)						
	健康教室の開催		0回	適切な実施	22回	順調 やや遅れ 遅れ	順調
小・中学校における健康教室の才実施による知識の普及啓発、課題の共有 (最終目標と最終年度)							

【Check】評価(分析)			
分析及び課題の整理	【活動の状況】を踏まえた分析	活動は予定通りだったのか、活動は有効だったのかなど、分析し課題を整理する。また、影響を及ぼした外的要因の分析も行う。	思春期の子どもとの課題を共有し、健康教育を推進するために、医療・保健・教育等の思春期保健関係者による連絡会を開催します。また、モデル教室を実施し、その結果を検証するとともに、平成22年度に作成した「保健指導イラスト教材集」の改訂を行います。
	「経済性」「効率性」の分析	「同じ成果をより低いコストで」「同じコストでより高い成果を得られないか、また、民間活力導入による「経済性・効率性」の向上はできないか。	様々な関係団体との連携強化を図ることで、教材を作成することができました。それを利用した健康教室をすることで効率的な実施ができています。

【Action】 目的実現のために平成24年度以降に実施すること
<p>モデル教室の検証結果を踏まえ、小中学校における思春期健康教室の実施を拡大・充実していくことで、効果的な思春期の心とからだの健康教育を推進します。</p> <p>併せて、保護者に対する啓発や支援体制の検討を行い、思春期の問題を減少できるように取り組みます。</p>

# 「元気発進！子どもプラン」事業評価票（平成23年度実績評価）

事業名	子ども・保護者のメディアリテラシー向上やネット監視対策に向けた取り組み						掲載ページ		
							113		
コスト	事業費	平成23年度執行額		平成24年度予算額		政策分野	子どもや若者の健やかな成長や自立を支える環境づくり	担当局	子ども家庭局
		1,792	千円	1,252	千円	施策名	青少年の健全育成	担当課	青少年課

【Plan】計画				【Do】実施		【Check】評価	
目的	何を(誰を)どのような状態にしたいのか	出会い系サイト等をはじめとするインターネット・携帯電話でのトラブルに子どもたちが巻き込まれる事件が多発し、青少年を取り巻く新たな有害環境として問題になっていることから、広報・啓発を中心とした有害サイト等メディア上の有害情報対策を推進します。		活動実績	活動結果は下記のとおりです。		
活動計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>「出会い系サイト等」被害防止教室</li> <li>リーフレット等による啓発活動</li> <li>青少年を取り巻く有害環境に関する懇談会の実施(いずれも市が直接実施)</li> </ul>						
活動指標	指標(数値化できない場合は、活動内容を文章で記載) (上段:指標名 下段:指標の考え方)	前年度実績	目標	実績(達成率)	【活動の状況】		
	出会い系サイト等被害防止教室の参加者数	723 人	-	4,954 人	大変順調	活動指標の実績を参考に、活動の状況をチェック	
	市中中学校の生徒を対象にした非行防止教室や、保護者や地域の方々を対象とした出前講演などで、有害サイト等の危険性や対策について講演を実施します(23年度から、希望によって非行防止教室でも講演を行うこととしました)。						
	(最終目標と最終年度)参加者数の増 平成26年度				順調	順調	
(最終目標と最終年度)				やや遅れ 遅れ			

【Check】評価(分析)			
分析及び課題の整理	【活動の状況】を踏まえた分析	活動は予定通りだったのか、活動は有効だったのかなど、分析し課題を整理する。また、影響を及ぼした外的要因の分析も行う。	<ul style="list-style-type: none"> <li>「出会い系サイト等」を使用して犯罪に巻き込まれる子どもたちの数が増加傾向にあります。</li> <li>青少年を取り巻く有害環境に関する対策会議(懇談会)では、携帯電話の有害情報に関する様々な情報や各関係団体の取組について情報を共有することができました。</li> </ul>
	「経済性」「効率性」の分析	「同じ成果をより低いコストで」「同じコストでより高い成果を」得られないか。また、民間活力導入による「経済性・効率性」の向上はできないか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>「出会い系サイト等」被害防止教室には、子ども家庭局からも担当課長等を講師として派遣しています。</li> <li>啓発物を統合することなどにより、経費の削減に努めました。</li> </ul>

【Action】 目的実現のために平成24年度以降に実施すること
有害環境から子どもたちを守る環境づくりを行う上で重要な事業であるため、保護者等に対する一層の周知・啓発が必要であると考えており、より多くの方に教室に参加していただくためのPR活動や関係事業者等を集めた対策会議の開催など、今後も引き続き、様々な取組を積極的に推進していきたく考えています。

# 「元気発進！子どもプラン」事業評価票（平成23年度実績評価）

事業名	シンナー等をはじめとした薬物乱用防止に向けた広報・啓発						掲載ページ		
							113		
コスト	事業費	平成23年度執行額		平成24年度予算額		政策分野	子どもや若者の健やかな成長や自立を支える環境づくり	担当局	子ども家庭局
		2,661	千円	3,064	千円	施策名	青少年の健全育成	担当課	青少年課

【Plan】計画				【Do】実施		【Check】評価	
目的	何を(誰を)どのような状態にしたいのか	本市におけるシンナー等乱用少年の検挙補導人員は減少傾向にあるものの、12年連続全国最多である福岡県の約21%を占めており、依然として憂慮すべき状況にあります。その撲滅に向けて、行政と地域が一体となった総合的な対策を推進しています。				活動実績	活動結果は下記のとおりです。
活動計画	・「シンナー等乱用防止・少年非行防止・非行少年立ち直り支援モデル地区」の指定及び活動の推進並びにシンナー等乱用防止啓発・環境浄化活動の推進						
活動指標	指標(数値化できない場合は、活動内容を文章で記載) (上段:指標名 下段:指標の考え方)	前年度実績	目標	実績(達成率)	【活動の状況】		
	啓発・環境浄化活動参加者数	18,486 人	-	15,005 人	大変順調	活動指標の実績を参考に、活動の状況をチェック	
	シンナー等乱用少年の撲滅を目標にして、実施している啓発・環境浄化活動を指標として掲げました。 (最終目標と最終年度)16,000人 平成26年度						
	(最終目標と最終年度)				順調	順調	
				やや遅れ			
				遅れ			

【Check】評価(分析)			
分析及び課題の整理	【活動の状況】を踏まえた分析	活動は予定通りだったのか、活動は有効だったのかなど、分析し課題を整理する。また、影響を及ぼした外的要因の分析も行う。	引き続き、シンナー等乱用少年の撲滅に向けた啓発・環境浄化活動として、シンナー等薬物乱用防止教室や夜間特別補導、モデル地区事業を実施しました。シンナー乱用撲滅に関する市民意識が向上し、シンナー等乱用少年の検挙補導人員が減少しました。
	「経済性」「効率性」の分析	「同じ成果をより低いコストで」「同じコストでより高い成果を」得られないか。また、民間活力導入による「経済性・効率性」の向上はできないか。	シンナー等薬物乱用防止教室や出前講演の講師を子ども家庭局の職員や関係機関に依頼することにより、経済的・効果的に実施することができました。

【Action】 目的実現のために平成24年度以降に実施すること
<p>・シンナー等乱用少年の撲滅に向け、今後も継続して事業を行うとともに、他の薬物(大麻、覚せい剤、MDMAなど)や「脱法ハーブ」等の違法ドラッグの広がりも懸念されていることから、その乱用防止に向けた普及啓発活用に、引き続き取り組んでいきたいと考えています。</p> <p>・24年度についても、シンナー等乱用少年の撲滅及びその他の薬物(大麻、覚せい剤、MDMAなど)や違法ドラッグの乱用防止に向け、警察等の他団体や地域団体との連携を図りながら、より一層、啓発・環境浄化活動に取り組んでいきたいと考えています。</p>

# 「元気発進！子どもプラン」事業評価票（平成23年度実績評価）

事業名	出会い系サイトをはじめとする有害環境対策事業						掲載ページ		
							113		
コスト	事業費	平成23年度執行額		平成24年度予算額		政策分野	子どもや若者の健やかな成長や自立を支える環境づくり	担当局	子ども家庭局
		1,757	千円	1,152	千円	施策名	青少年の健全育成	担当課	青少年課

【Plan】計画				【Do】実施		【Check】評価	
目的	何を（誰を）どのような状態にしたのか	子どもたちが出会い系サイト等をきっかけとした事件に巻き込まれるケースが増加している。メディア上の有害環境の危険性を正しく伝え、子どもたちが事件や犯罪に巻き込まれるのを防ぐため、広報・啓発を中心にその対策を実施します。		活動実績	活動結果は下記のとおりです。		
活動計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>「出会い系サイト等」被害防止教室</li> <li>リーフレット等による啓発活動</li> <li>青少年を取り巻く有害環境に関する懇談会の実施</li> </ul>						
活動指標	指標（数値化できない場合は、活動内容を文章で記載） （上段：指標名 下段：指標の考え方）	前年度実績	目標	実績（達成率）	【活動の状況】		
	啓発リーフレット配布数	10,000 部	-	17,000 部	大変順調	活動指標の実績を参考に、活動の状況をチェック	
	小・中学生の保護者向け啓発リーフレットの配布部数を指標として掲げました。 (最終目標と最終年度)						
					順調	順調	
(最終目標と最終年度)				やや遅れ 遅れ			

【Check】評価(分析)			
分析及び課題の整理	【活動の状況】を踏まえた分析	活動は予定通りだったのか、活動は有効だったのかなど、分析し課題を整理する。また、影響を及ぼした外的要因の分析も行う。	<ul style="list-style-type: none"> <li>22年度全面改訂した保護者向け啓発リーフレットを、対象範囲を拡大して配布しました。</li> <li>保護者等に対する周知・啓発により、「出会い系サイト等」に関わる被害児童数は減少傾向にありましたが、全国件数では、その他のサイトに関わる被害児童数も、統計を取り始めた平成20年以降で初めて減少しました。</li> </ul>
	「経済性」「効率性」の分析	「同じ成果をより低いコストで」「同じコストでより高い成果を」得られないか。また、民間活力導入による「経済性・効率性」の向上はできないか。	「出会い系サイト等」被害防止教室には、子ども家庭局からも担当課長等を講師として派遣しています。

【Action】 目的実現のために平成24年度以降に実施すること
<ul style="list-style-type: none"> <li>本事業は、有害環境から子どもたちを守る環境づくりを行う上で重要な事業の一つであるため、引き続き被害防止教室の開催等による周知・啓発を図っていきたく考えています。</li> <li>今後も、広報・啓発活動を中心にした取組を、より一層、推進していきたく考えています。</li> </ul>

# 「元気発進！子どもプラン」事業評価票（平成23年度実績評価）

事業名	地域会議推進事業						掲載ページ		
							113		
コスト	事業費	平成23年度執行額		平成24年度予算額		政策分野	子どもや若者の健やかな成長や自立を支える環境づくり	担当局	子ども家庭局
		2,635	千円	3,727	千円	施策名	青少年の健全育成	担当課	青少年課

【Plan】計画				【Do】実施		【Check】評価		
目的	何を（誰を）どのような状態にしたいのか	地域ぐるみでの青少年の健全育成・非行防止への取り組みを進めるため、主に中学校単位で、自治会、社会福祉協議会、PTAなどにより組織された地域会議の活動を支援します。				活動実績	活動結果は下記のとおりです。	
活動計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>各地域会議に対する「実績報告・事業計画」の提出依頼</li> <li>各地域会議に対する活動支援</li> <li>研修会の開催</li> </ul>							
活動指標	指標（数値化できない場合は、活動内容を文章で記載） （上段：指標名 下段：指標の考え方）		前年度実績	目標	実績（達成率）	【活動の状況】		
	地域会議の活動支援					大変順調	活動指標の実績を参考に、活動の状況をチェック	
	地域全体で、青少年の健全育成・非行防止への取り組みを進めるため、活動指標として掲げました。 （最終目標と最終年度）						順調 やや遅れ	順調
	（最終目標と最終年度）					遅れ		

【Check】評価(分析)			
分析及び課題の整理	【活動の状況】を踏まえた分析	活動は予定通りだったのか、活動は有効だったのかなど、分析し課題を整理する。また、影響を及ぼした外的要因の分析も行う。	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域会議開催経費、事業実施経費の支援等を実施しました。</li> <li>青少年の健全育成を図る上で、地域における活動は有意義であり、必要不可欠であると考えています。現状は、活発に活動している団体とそうでない団体との差が見受けられます。</li> </ul>
	「経済性」「効率性」の分析	「同じ成果をより低いコストで」「同じコストでより高い成果を」得られないか。また、民間活力導入による「経済性・効率性」の向上はできないか。	経済性・効率性を高めるため、予算配分の変更・見直しを行うなど、事業費の削減に努めています。

【Action】 目的実現のために平成24年度以降に実施すること
<ul style="list-style-type: none"> <li>青少年の健全育成を図る上で、地域との連携は必要不可欠であり、今後とも当該事業を推進していく必要があると考えています。</li> <li>24年度は、団体に対する経費の支援等を実施することに加え、当事業の今後のあり方について各区コミュニティ支援課等と検討を行い、地域の実情に合わせた効率的な支援に努めてまいります。</li> </ul>

# 「元気発進！子どもプラン」事業評価票（平成23年度実績評価）

事業名	少年補導委員活動						掲載ページ		
							113		
コスト	事業費	平成23年度執行額		平成24年度予算額		政策分野	子どもや若者の健やかな成長や自立を支える環境づくり	担当局	子ども家庭局
		2,954	千円	4,467	千円	施策名	青少年の健全育成	担当課	青少年課

【Plan】計画				【Do】実施		【Check】評価	
目的	何を(誰を)どのような状態にしたのか	少年補導委員による地域における補導活動や環境浄化活動に努めるとともに、少年非行防止活動についての情報交換を行います。			活動実績	活動結果は下記のとおりです。	
活動計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>市少年補導委員連絡協議会に係る会議の定期的な開催</li> <li>少年補導委員に対する研修会の開催(年に2回)</li> </ul>						
活動指標	指標(数値化できない場合は、活動内容を文章で記載) (上段:指標名 下段:指標の考え方)		前年度実績	目標	実績(達成率)	【活動の状況】	
	補導活動回数		3,884 回	-	3,391 回	大変順調	活動指標の実績を参考に、活動の状況をチェック
	補導活動を行うことで、子どもとの密接な関係を築くことができるため、活動指標として掲げました。 (最終目標と最終年度)3,930回 平成26年度						
	(最終目標と最終年度)					順調	順調
					やや遅れ		
					遅れ		

【Check】評価(分析)			
分析及び課題の整理	【活動の状況】を踏まえた分析	活動は予定通りだったのか、活動は有効だったのかなど、分析し課題を整理する。また、影響を及ぼした外的要因の分析も行う。	<ul style="list-style-type: none"> <li>定期的な少年補導委員役員会の開催、また、年2回の研修会を開催するなど、少年補導委員の意欲や能力の向上に努めました。</li> <li>補導活動の実施により、子どもとの密接な関係を築くことができ、また、少年非行防止活動についての情報交換もできました。</li> </ul>
	「経済性」「効率性」の分析	「同じ成果をより低いコストで」「同じコストでより高い成果を」得られないか。また、民間活力導入による「経済性・効率性」の向上はできないか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>委嘱された補導委員一人ひとりが、様々な時間帯で活動を行っています。</li> </ul>

【Action】 目的実現のために平成24年度以降に実施すること
<ul style="list-style-type: none"> <li>2年に一度の少年補導委員の委嘱時期であり、事業費は23年度と比較すると拡充となりますが、事業内容としては継続となります。</li> <li>子どもとの密接な関係を築き、地域住民との連携を図るため、今後も継続して事業を実施します。</li> <li>地域住民との連携は必要不可欠であり、今後も情報交換を図るなど、より積極的な活動を行っていきたいと考えています。</li> </ul>

# 「元気発進！子どもプラン」事業評価票（平成23年度実績評価）

事業名	青少年を取り巻く有害環境に関する懇談会						掲載ページ		
							113		
コスト	事業費	平成23年度執行額		平成24年度予算額		政策分野	子どもや若者の健やかな成長や自立を支える環境づくり	担当局	子ども家庭局
		34	千円	100	千円	施策名	青少年の健全育成	担当課	青少年課

【Plan】計画				【Do】実施		【Check】評価	
目的	何を(誰を)どのような状態にしたのか	青少年を取り巻く有害環境の現状認識の共有と各団体共通の取組みを協議するため、関係業界、青少年育成団体、家庭、学校、警察、行政による意見交換等を実施します。		活動実績	活動結果は下記のとおりです。		
活動計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>青少年を取り巻く有害環境に関する懇談会(対策会議)の定期的な開催</li> <li>関係団体等との打ち合わせ</li> </ul>						
活動指標	指標(数値化できない場合は、活動内容を文章で記載) (上段:指標名 下段:指標の考え方)	前年度実績	目標	実績(達成率)	【活動の状況】		
	懇談会(対策会議)の参加者数	-	-	19人	大変順調	活動指標の実績を参考に、活動の状況をチェック	
	より多くの関係団体の方々に懇談会に参加していただき、情報の共有化や各団体の取組の強化を図っていくために、指標として設定しました。 (最終目標と最終年度)				順調	順調	
	(最終目標と最終年度)				やや遅れ		
				遅れ			

【Check】評価(分析)			
分析及び課題の整理	【活動の状況】を踏まえた分析	活動は予定通りだったのか、活動は有効だったのかなど、分析し課題を整理する。また、影響を及ぼした外的要因の分析も行う。	<ul style="list-style-type: none"> <li>今後数年間は、「携帯電話」をテーマとした対策会議を、年1回程度行う予定としました。</li> <li>携帯電話の有害情報に関する様々な情報や各関係団体の取組について情報を共有することができました。24年度以降は、「携帯電話」をテーマにした懇談会(対策会議)を年1回程度行う予定としました。</li> </ul>
	「経済性」「効率性」の分析	「同じ成果をより低いコストで」「同じコストでより高い成果を」得られないか。また、民間活力導入による「経済性・効率性」の向上はできないか。	啓発物を統合することなどにより、費用の削減に努めました。

【Action】 目的実現のために平成24年度以降に実施すること
<ul style="list-style-type: none"> <li>今後とも、関係事業者に対して、より連携を深め、青少年を取り巻く有害環境から子どもたちを守るための取組を積極的に進めていくことが必要だと考えています。</li> <li>24年度も、「携帯電話」をテーマにした懇談会(対策会議)を実施し、PTAや地域団体、教育機関などと関係事業者が一体となり、情報の共有化や各団体の取組の強化を図っていききたいと考えています。また、各団体の取組状況について、フォローアップも行う予定です。</li> </ul>

# 「元気発進！子どもプラン」事業評価票（平成23年度実績評価）

事業名	健康相談						掲載ページ		
							114		
コスト	事業費	平成23年度執行額		平成24年度予算額		政策分野	子どもや若者の健やかな成長や自立を支える環境づくり	担当局	保健福祉局
		1,014	千円	2,042	千円	施策名	青少年の健全育成	担当課	健康推進課

【Plan】計画				【Do】実施		【Check】評価	
目的	何を（誰を）どのような状態にしたのか	子どもの喫煙が低年齢化しているため、保健師等が希望する小・中学校に出向き「たばこの害」に関する教育を実施します。また、子どもの家族への啓発活動も推進します。			活動実績	活動結果は下記のとおりです。	
活動計画							
活動指標	指標（数値化できない場合は、活動内容を文章で記載） （上段：指標名 下段：指標の考え方）	前年度実績	目標	実績（達成率）		【活動の状況】	
	子どもの喫煙が低年齢化しているため、たばこの害の普及・啓発に努めます。  （最終目標と最終年度） 目標設定なし	-	-	-	大変順調	活動指標の実績を参考に、活動の状況をチェック	
	  （最終目標と最終年度）				順調 やや遅れ 遅れ	-	

【Check】評価(分析)			
分析及び課題の整理	【活動の状況】を踏まえた分析	活動は予定通りだったのか、活動は有効だったのかなど、分析し課題を整理する。また、影響を及ぼした外的要因の分析も行う。	数値目標を設定していないが、小・中学校での講話を実施しています。たばこには多くの有害物質が含まれており、たばこの害の普及・啓発を行うことは青少年の健全育成に有効です。
	「経済性」「効率性」の分析	「同じ成果をより低いコストで」「同じコストでより高い成果を」得られないか。また、民間活力導入による「経済性・効率性」の向上はできないか。	高いコストをかけず、効率的に行っています。

【Action】 目的実現のために平成24年度以降に実施すること
現状のまま実施します。



# 「元気発進！子どもプラン」事業評価票（平成23年度実績評価）

事業名	薬物乱用防止等啓発事業						掲載ページ		
							114		
コスト	事業費	平成23年度執行額		平成24年度予算額		政策分野	子どもや若者の健やかな成長や自立を支える環境づくり	担当局	保健福祉局
		853	千円	3,090	千円	施策名	青少年の健全育成	担当課	保健医療課

【Plan】計画				【Do】実施		【Check】評価		
目的	何を（誰を）どのような状態にしたいのか	市民、小・中学生、青少年等に対してシンナー等の薬物乱用防止啓発を行い、薬物乱用のない社会環境づくりを推進します。				活動実績	活動結果は下記のとおりです。	
活動計画	青少年に薬物の正しい知識を持ってもらうため、街頭啓発キャンペーンを実施するなど、市民への薬物乱用防止にかかる啓発を行います。							
活動指標	指標（数値化できない場合は、活動内容を文章で記載） （上段：指標名 下段：指標の考え方）		前年度実績	目標	実績（達成率）	【活動の状況】		
	街頭キャンペーンによる効果的な啓発事業の実施		-	-	-	大変順調	活動指標の実績を参考に、活動の状況をチェック	
	市内の中学・高校生やガールスカウト・ボースカウト、関係団体の協力を得て、小倉駅前にて啓発資材の配布等を行い、薬物乱用防止に対する意識の向上を図ります。 （最終目標と最終年度）						順調	
（最終目標と最終年度）		遅れ						

【Check】評価(分析)			
分析及び課題の整理	【活動の状況】を踏まえた分析	活動は予定通りだったのか、活動は有効だったのかなど、分析し課題を整理する。また、影響を及ぼした外的要因の分析も行う。	街頭キャンペーンでは多くの学生（約160人）の参加を得ることができ、薬物乱用防止に係る意識の向上を図ることができました。平成23年の北九州地区（遠賀郡・中間市を含む）のシンナー等薬物乱用少年の検挙補導人員は9人と、平成15年のピーク時の349人から大幅に減少していることから、現在の啓発活動が一定の成果をあげているものと考えます。しかしながら、近年は、違法ドラッグなどの薬物乱用の低年齢化が進んでおり、若年層への継続的な啓発が必要です。
	「経済性」「効率性」の分析	「同じ成果をより低いコストで」「同じコストでより高い成果を」得られないか。また、民間活力導入による「経済性・効率性」の向上はできないか。	国が策定した「第三次薬物乱用防止五ヵ年戦略（平成20年）」に基づき、国・県などの関係機関が連携して総合的な薬物乱用対策に取り組んでおり、本誌の関与は不可欠です。本市では、平成12年に「北九州都市シンナー等薬物乱用推進本部」が設置され、関係各課が連携し、効率的に事業を行っています。

【Action】 目的実現のために平成24年度以降に実施すること
平成23年の福岡県内におけるシンナー等乱用少年の検挙補導者数は、前年から減少しているものの、42人と全国ワースト1位となっています。そのうち、北九州地区（遠賀郡、中間市を含む）の占める割合は21%（9人）と依然として高い状況であり、継続した取り組みが必要です。引き続き関係機関と連携して、特に若年層への啓発を中心とした事業をすすめていきます。

# 「元気発進！子どもプラン」事業評価票（平成23年度実績評価）

事業名	薬物乱用対策事業						掲載ページ		
							114		
コスト	事業費	平成23年度執行額		平成24年度予算額		政策分野	子どもや若者の健やかな成長や自立を支える環境づくり	担当局	保健福祉局
		3,579	千円	1,180	千円	施策名	青少年の健全育成	担当課	精神保健福祉センター

【Plan】計画				【Do】実施		【Check】評価		
目的	何を（誰を）どのような状態にしたいのか	薬物依存になっても、安心して相談でき、回復に向けて支援できる体制づくりを目指します。				活動実績	薬物対策連絡協議会（事業検討委員会）開催 薬物・ギャンブル相談窓口を設置 薬物の問題で悩む家族のための教室を実施 依存症回復プログラムの試験実施 各種啓発資料の作成	
活動計画	23年度は、国の地域依存症対策推進モデル事業（国庫補助）を活用し、従来薬物問題を巡って構築してきたネットワークを活かし、アルコールやギャンブルなども含めた依存問題全般へのアプローチを想定して課題を抽出し、達成可能な課題解決に向け、多機関協同による地域健康教育の推進を目指し、連携システムの強化を図ります。							
活動指標	指標（数値化できない場合は、活動内容を文章で記載） （上段：指標名 下段：指標の考え方）		前年度実績	目標	実績（達成率）		【活動の状況】	
	「薬物の問題で悩む家族のための教室」参加者数		68 人	60 人	63 人	大変順調	活動指標の実績を参考に、活動の状況をチェック	
	薬物乱用及び依存の問題を抱える家族に対して、正しい知識や接し方を学び、同じ問題を持つもの同士の分かち合いの場所を提供します。 （最終目標と目標年度） 年延60人程度				105.0 %			
	薬物・ギャンブル相談窓口の実施回数		22 回	24 回	21 回	順調	順調	
薬物乱用及び依存の問題を抱える当事者、家族及び支援担当者に対し、今後の対応や方針決定についての助言、知識・情報提供を実施し、薬物依存者への早期対応及び再乱用防止の一助とします。 （最終目標と目標年度） 年24人		87.5 %			やや遅れ 遅れ			

【Check】評価(分析)			
分析及び課題の整理	【活動の状況】を踏まえた分析	活動は予定通りだったのか、活動は有効だったのかなど、分析し課題を整理する。また、影響を及ぼした外的要因の分析も行う。	薬物依存症に対する社会の理解が進んでいないこともあり、この問題は潜在化しやすい特徴があります。このため、実態の把握が難しく、成果を数値化することは困難です。このため、継続的に家族教室や個別相談を実施していることにより事業が着実に進んでいると判断しました。一定の参加者があったことは、問題の潜在化と深刻化を防止する意義があったと考えます。薬物の検挙者は横ばいであるため、対象者も減っていないと推定されるため、継続的に相談できる場を維持することが重要と考えます。
	「経済性」「効率性」の分析	「同じ成果をより低いコストで」「同じコストでより高い成果を」得られないか。また、民間活力導入による「経済性・効率性」の向上はできないか。	相談や家族教室など事業の実施にあたっては、地域の回復支援施設や自助グループの関係者と協働することにより、プログラムの充実や行政職員のノウハウの蓄積を図っています。このことにより、効率的・安定的に事業を実施することが出来ています。今後も回復支援施設や自助グループだけでなく、司法機関や医療機関の取り組みなども参照し、事業の効率性と有効性を高めることを検討します。

【Action】 目的実現のために平成24年度以降に実施すること
現在の方法を続けながら、国のモデル事業の成果等をふまえ、より実効性が高い支援方法を検討していきます。

# 「元気発進！子どもプラン」事業評価票（平成23年度実績評価）

事業名	デートDV予防啓発事業						掲載ページ		
							H23新規		
コスト	事業費	平成23年度執行額		平成24年度予算額		政策分野	子どもや若者の健やかな成長や自立を支える環境づくり	担当局	子ども家庭局
		1,302	千円	1,281	千円	施策名	青少年の健全育成	担当課	男女共同参画推進課

【Plan】計画				【Do】実施		【Check】評価		
目的	何を（誰を）どのような状態にしたいのか 高校生・大学生等を対象とした出前講演の開催など、若年層に対するデートDV（恋人間での起こるDV）への理解促進と予防啓発に取り組みます。						活動実績	活動結果は下記のとおりです。
活動計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>高校・大学の教職員等を対象とした「デートDV予防教室活用セミナー」の開催</li> <li>高校生・大学生等を対象としたデートDV予防教室の開催</li> <li>デートDV予防啓発広告の掲載</li> </ul>							
活動指標	指標（数値化できない場合は、活動内容を文章で記載） （上段：指標名 下段：指標の考え方）		前年度実績	目標	実績（達成率）	【活動の状況】		
	「デートDV予防教室」参加者数		-	-	4,121 人	大変順調	活動指標の実績を参考に、活動の状況をチェック	
	高校生・大学生等を対象にデートDV予防教室を開催し、デートDV予防に関する理解を深めます。							
	（最終目標と最終年度） -					順調	順調	
（最終目標と最終年度）					やや遅れ			
					遅れ			

【Check】評価(分析)			
分析及び課題の整理	【活動の状況】を踏まえた分析	活動は予定通りだったのか、活動は有効だったのかなど、分析し課題を整理する。また、影響を及ぼした外的要因の分析も行う。	デートDV予防教室活用セミナーを開催し、教職員に対してデートDV予防教育の必要性を示すとともに、デートDV予防教室において、学生等に直接、理解促進を働きかけました。また、若者向け情報誌にデートDV防止に関する啓発広告を掲載し、広く周知するなど、概ね計画どおりに取り組みました。
	「経済性」「効率性」の分析	「同じ成果をより低いコストで」「同じコストでより高い成果を得られないか。また、民間活力導入による「経済性・効率性」の向上はできないか。	(財)アジア女性交流・研究フォーラムが養成した、デートDV予防教育ファシリテーターを講師として活用したり、県と連携して周知等に取り組むことにより、効率的な事業実施に努めています。

【Action】 目的実現のために平成24年度以降に実施すること
平成24年度も引き続き、関係機関との連携を図りながらデートDV予防教室を開催するとともに、教職員等関係者や若年層に対し、積極的に広報啓発に取り組みます。